

議事概要

令和6年度第2回東北港湾の技術ビジョン検討委員会

日時：令和6年12月25日（水）13:30～15:30

場所：仙台合同庁舎B棟9階 港湾空港部 AB 会議室

【議事概要】

- ・ 前回、令和6年度第1回東北港湾の技術ビジョン検討委員会での指摘事項に対する資料修正及び技術項目個表について説明し、意見交換を行った。
- ・ 技術ビジョンの推進に向けて、取組体制、取組時期について説明し、意見交換を行った。
- ・ 東北港湾ビジョン（冊子）について説明し、意見交換を行った。

<議 事>

- （1）技術ビジョン検討の流れと指摘対応、技術項目の個表について
- （2）技術の推進に向けて（取組体制・取組時期）
- （3）東北港湾の技術ビジョン（冊子案）

【委員からの主な意見】

- ・ 理念の文章とイメージ図が対応するよう調整すること。特に、イメージ図の「東北地域の発展」を文章に反映させたほうが良い。
 - ・ 技術項目9. メンテナンス・予防保全技術にあるエポキシ樹脂鉄筋やCFRP材料は、予防保全や補修というよりも、高耐久材料として最初から入れることで構造物を長寿命化し、環境保全に貢献するという考えの方が合致する。技術項目3. 環境保全関連技術の具体的取組テーマの「リサイクル材」を「リサイクル材・高耐久材料」とし、技術項目9. から技術項目3. に移動してはどうか。
 - ・ 技術項目13. 静穏度確保・暴風対策技術について、背景に厳しい気象条件下とあるが、具体的取組テーマとのつながりが分かりづらいため、文章を工夫すること。
 - ・ 全体を通して、背景が同じ文章となっている項目があるが、それぞれ別の背景があると思われるため、文章を工夫すること。
 - ・ 実効性を持たすため、途中段階でチェック、レビューは重要で、そのことを明記する必要があるのでは。
 - ・ チェック体制については、技術ビジョン自体と並行して検討すべき大きな課題で、達成感を客観的にどう評価するかも検討が必要。難しい内容であるが、チェックを行うという意識付けは必要。
 - ・ チェック方法は、チェックすることと方法を検討する旨、明記して頂ければと思う。
- ⇒委員からのご意見を受け、事務局において資料の修正作業を行い、委員への最終確認を経て、令和7年2月頃に東北港湾の技術ビジョンを公表する予定です。

以上